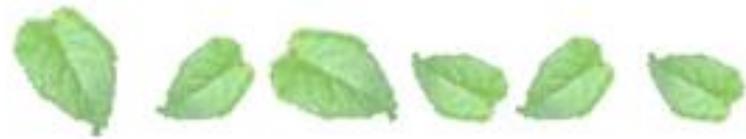


胃痛改善 臨床編



❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1 : 会議で胃痛！！	4
2 : 会議で胃痛！！それから	8
3 : 胃痛から始まった腰痛	11
4 : 営業先のアイスコーヒーは勘弁.....	15
5 : 昼食後から急激な腹痛と吐き気は・・・？	19
6 : 首、肩、背中、胃、腰の痛み、そして湿疹の原因と治療方法が全く一緒？	27
7 : 首の痛みと腰痛の原因が子宮筋腫を招く	29
8 : 首と肩の痛みと湿疹はストレスが原因.....	39
9 : 胃の痛みと胸と背中の痛みの原因は運動不足？ ...	45
10 : 肩や腰の張りを足首捻挫の対策をすることで改善	51

❖ 1 : 会議で胃痛！！

30代 女性

最近、会社で会議中になると、必ず胃が痛くなる。

薬を飲んだり、病院へ行くのは嫌なので、何とか治してほしいと来院。

まず、仰向けで脈を診ると、胃の興奮はなく、逆に胃腸の機能が落ちている状態であった。

さらに、お腹を触ると、下腹部の固さが強く感じられる。

基本的に、胃痛となると、胃炎や胃潰瘍を警戒しなければならない。

そして、その場合大抵は、胃の脈が興奮していて、上腹部に固さや抵抗が現れるものである。

しかし、この患者さんには、どちらの所見も診られない。

しかも、症状が出るのは、会議中のみということである。

であれば、会議中に何か胃に負担となることがあるはず。

胃は、緊張感やプレッシャーを感じたり、刺激物を取ったりした時に、痛みを発することが多い。

会議中の緊張は全くないとのことで、飲食物を聞いてみると、会議中は、必ずコーヒーを飲んでいるらしい。

しかも、ブラックで。

これで、原因は、コーヒーであることがわかった。

コーヒーは、刺激が強いため、日本人の胃腸には合わない飲み物である。

従って、飲むときには必ず、何か食べながらか、食後に取らなければ、胃を傷める危険性が高くなる。

胃腸が、かなり強いタイプの方であれば問題ないかもしれないが、この方は、完全に胃腸の機能が低下している。

そして、会議中に食べ物を口にすることはできず、コーヒーを飲むのは、必ず空腹時である。

これらのことから、治療は、胃腸の機能を回復させることと、全体の疲れを取ることに。

これを、鍼で行い治療は終了。

後は、会議中には、コーヒーを飲まなければ大丈夫であろう。

胃腸の不快感は、完全に取れ、スッキリした表情で帰られたが、コーヒーが原因だったことは、かなり意外だったみたいだ。

❖ 2 : 会議で胃痛！！それから

前回の記事「[会議で胃痛！！](#)」のその後の経過。

会議中になると胃痛が出るという患者さん。

治療の結果、会議中に飲んでいるコーヒーが原因で、胃が荒れてしまっていることが判明。

そのため、会議中のコーヒーを止めてみるように勧めました。

すると、10日後の来院時には、「おかげさまで、まったく痛まなくなりました。しかも、私だけでなく、他の人も何人か苦しんでいたみたいです。みんな「コーヒーにそんな悪影響があるとは！」とビックリしてました。」と笑顔で話

されていた。

私もコーヒーが好きなのだが、空きっ腹に飲むのだけは勘弁である。

しかし、よくいろんなところでコーヒーを出されることがある。

こういう時は、何かつまみも一緒に出してくれるといいのだが（笑）、食べながらの会議や接客というのは、今の日本には馴染まない習慣である。

ただし、昔を考えてみると、お茶に茶菓子につきものであった。

お茶よりも刺激の強い成分であるコーヒーに、なぜ何もつ

けずに平然と出すのだろうか？

東洋医学には、医食同源や薬膳という考えがある。

日本でも、昔はかなりの人たちが活用していた。

胃を荒らす飲み物を飲むときには、胃を保護する何かを摂取するのが普通である。

なぜ、コーヒーだけが流行り、コーヒーを健康のために飲む習慣が流行らないのだろうか？

どうせおいしい物を取るのであれば、身体にとってためになる取り方をしましょうよ。

❖ 3 : 胃痛から始まった腰痛

20代 女性

2 か月ほど前に、お腹に急な激痛が走り、1 週間ほど入院。そこで、胃カメラにより、「胃に爪でひっかいた跡がくつきりとある。」と言われる。

さらに、血液検査で肝機能が低下してると言われたらしい。

その退院後から、腰痛が起き始め、いまだ治らないとのこと。

まず、仰向けでお腹をチェック。

胃の所に、強い動悸を感じる。

脈からも胃の興奮と、肝臓の機能低下が伺えるため、これらを改善させるようにお灸を行う。

お腹の動悸が消えたのを確認し、うつ伏せに。

こちらは、非常に疲労を感じる。

まず、疲労を取るようにお灸を行い、その後胃の興奮を抑えるように、鍼を少し加え、立ち上がってもらおう。

ここで、お腹と背中痛み及び違和感が、スッキリ取れていることを、確認してもらい終了とした。

この症例は、まず、疲労を溜めてしまったことに始まる。

この疲労の中、頑張っている仕事をしなければならず、無理をしているうちに胃が興奮し、胃酸過多に！

この胃酸過多の影響で、胃粘膜にひどい傷を負ってしまった。

そして、この傷の痛みが腰に響いていたのだ。

基本的に、胃の炎症は入院中に治癒していたはず。

しかし、ここまで痛みを引きずってしまったのは、胃の緊張（仕事を頑張らなければという気持ちから）が、残っていたからであろう。

従って、入院中もしくは退院後に、東洋医学での対応ができていたら、このような痛みは出なかったものと考えられる。

ここにも、現在日本が抱えている医療問題の影響がある。

早く、患者のための医療を作り上げてもらいたいものだ。

❖ 4 : 営業先のアイスコーヒーは勘弁

30代 女性

仕事で、営業先を回っていると、気温の高い日には、必ずと言っていいほど出てくるアイスコーヒー。

今回は、このアイスコーヒーで胃痛を起こした症例。

普段は、なるべく温かいものを飲むようにして、身体を冷やさないように工夫しているが、出先で出されるものは、必ずアイスコーヒー。

「きついなあ！」と、思いながらも、出されたものを飲まないのも失礼にあたるため、頑張って飲んでみると、段々胃がきつくなってくる。

その内、脚が石のように重くなり、歩けなくなってくると
いう。

まず、背中を診てみると、肝臓から胃にかけて、鉄板のよ
うに固まっている。

さらに、ストレスにより精神的に参っている反応も出てい
る。

まずは、これらをお灸で整え、仰向けに。

お腹は、何かに中ったように軟弱になっている。

さらに、すねは鉄柱が入っているように固く、足先は非常
にむくんでいる。

これらもお灸で整えていき、お腹がしっかりしてきた頃には、「何か胃がスッキリしてきました。」。

そして、すねの高さが抜けてくると、「足の方もなんだか柔らかくなった感じ。」。

と、変化を実感している様子。

そこで、立ち上がってもらい、実際に楽になっているか聞いてみると、「胃も脚も楽です。来て良かった。」と、喜んで帰られた。

アイスコーヒーは、私も好きであるが、本来、日本人の胃は、繊細にできている。

そのため、コーヒーのように刺激が強い飲み物は、空腹時

に入れてしまうと、痛めてしまうことが多い。

特にアイスコーヒーは、冷やす作用が強いため、元々冷え症の人には不向きな飲み物である。

食直後であれば、それほど刺激を感じずに済むのだが、つまむ物もなく、空腹で飲むのは胃に酷である。

この方のように、足のすねが鉄柱のような固さになっている場合。

胃腸の冷えが強いことを現わしている。

そこに、アイスコーヒーを入れれば、当然もっと冷える。

と同時に、このすねの部分の固さも強くなる。

筋肉が固まれば固まるほど、血流が悪くなり、むくみを作ってしまう。

むくみが溜まれば重さを感じる。

これが、この方の、足が重くて歩けなくなった原因である。

このように、内臓の変化が身体に出ることは非常に多い。

しかし、現代医学では、解明できない部分である。

従って、病院で異常が見つけられない症状に対しては、即東洋医学での対応が求められるのである。

❖ 5 : 昼食後から急激な腹痛と吐き気 は・・・？

昼食を食べてから、急に腹痛と吐き気が！！

いつも食べているようなものを食べて、何もヤバイものを
食べた記憶が無い。

けれど、明らかに吐き気がひどくなってきている。

ということで、急遽来院された30代男性。

顔面蒼白という状態で、本当に苦しそう。

けれど、吐き出すところまではきていない。

それどころか下しそうな感じさえあるという。

これは、漢方で言う、汗吐下法という解毒反応のうちの吐くと下すという反応が出ている。

まさしく、何か

中った反応

である。

まずは、仰向けで寝てもらい、お腹を軽く触ると、胃に全ての感覚が集中しているような緊張感を触れることができる。

次に、脈を触ると、栄養失調状態を表している。

決して、今何かの細菌やウイルスにやられている脈ではない。

この反応が、何を意味しているのか？

それは、針を打っていくとよく分かる。

数本、針を手足に打ったところで、再度脈を見ると、一気に栄養状態が良好になってきた。

しかし、お腹の反応はまだ悪いまま。

けれど、脈が変化したということは、狙いは合っているということ。

従って、次の手段としてお腹の緊張を取り去ること。

これを足に鍼を打つことで行う。

鍼を打つたびに、お腹が緩んでいく。

脈もますます良好な状態。

ここで、「お腹の感覚に変化は出てきましたか？」と聞くと、

「はい、かなり緩んだ感じがします。」ということで、ここまで15分ほど。

さらに、20分ほど、針をそのままにしておく。

そして、今度はうつ伏せになってもらい、背中の触診を行うと、背骨の緊張感が、かなりひどい。

これは、かなりのストレスがあった反応。

しかも、昨日今日の問題ではない。

さらに、この緊張感では、不眠症にもなっているだろう。

そこで、「仕事はかなり忙しいんですか？」

「はい、休みがなかなか取れないんです。そんな中、娘の学校の運動会に参加してしまったので、体はボロボロ。さらに、こんなになっちゃって！！」

と、苦しい胸の内を明かしてくれた。

そして、もう少し気になることがあり、昼食時に何を取ったか詳しく聞いてみると、昼食後にコーヒーを飲んで、会

社に戻ってまた1杯コーヒーを飲んだという。

忙しさによりストレスが貯まり、常に緊張状態で仕事をしていた関係で、不眠症になってしまった。

睡眠不足のまま働き続け、ようやく休みをとれたのはいいが、娘の運動会で筋肉痛になるほど体を動かし、さらに疲労が溜まっていた。

そんな状態では、胃酸が出まくっている。

そこに、連続でコーヒーを入れてしまったのは、胃が荒れて、さらに胃に熱がこもってしまう。

その熱が上に上がり吐き気となっていたのだ。

しかし、吐き出す体力はなく、下からも出そうとするが、
胃が興奮しては、腸が働けず、下からも出せない。

こんな状態で、今回の症状が起きていたようだ。

針が終了し、起き上がってもらおうと、「おお、お腹がスッキ
リしました。全く張り感が無いです。」と、すごい喜びよう
だった。

もし、このような患者さんが、病院へ行っていたらどのよ
うな検査と処置をしてもらえたのだろうか？

そして、調子が良くなるまでに、どの程度時間が必要だっ
たのだろうか？

この患者さんは、「これなら仕事ができる。」と、さっさと

職場へ戻っていった。

こんな現象を西洋医学でも起こせるのだろうか？

鍼灸や漢方の世界では、このようなことが普通にある。

もっともっとたくさんの人に知ってもらいたい、東洋医学
の神秘の世界。

❖ 6 : 首、肩、背中、胃、腰の痛み、そして湿疹の原因と治療方法が全く一緒？

今回、おもしろい症例が 3 つ続けてありましたので、ご紹介いたします。

1. [首と腰の痛み](#)
2. [首肩の痛みと湿疹](#)
3. [胃の痛みと背中](#)の痛み

このような症状をもつ 3 人が立てつづけに来院。

治療内容は、全く一緒。

治療部位は、両足とお腹、そして一部背中。

これだけです。

首と肩には一切刺激を入れていません。

そして、3人とも、原因の理解とこれからやるべきことをし
っかりと理解されながら帰っていかれました。

3人とも、まったく同じところは、横隔膜の状態。

それぞれ、横隔膜を悪くしている原因は、さまざま。

その詳細を、次回からお伝えしていきます。

今日は、短いですが、以上です。

❖ 7 : 首の痛みと腰痛の原因が子宮筋腫を招く

今日から 3 回連続で、前回お伝えした、3 つの症例について書いていきます。

まずはこちら。

首の痛みと腰痛がつらいと来院された 40 代女性。

症状的には、それほど辛くないようだが、どうしてこのような症状が出てしまうのかが理解できないということで来院。

常につらさを感じているようなので、慢性化しているものに対しては、内臓面から見ていく方が、原因を読みやすい

ため、仰向けで診ていく。

まず、肩を触った瞬間に、胃が悪いことを確認。

胃を触ってみても、足を触ってみても、やはり胃の悪さは
確実。

するとこの患者さん、食道裂孔ヘルニアが、去年見つかったばかりだという。

まずは、この食道裂孔ヘルニアの原因を探りながら、足とお腹にお灸をしていく。

始めに触れていた大きな胃が、お灸をやるごとに、徐々に小さくなっていく。

その後、胃の裏から固まった腸が触れるようになった。

「この腸の状態では、生殖器の子宮や卵巣に影響が出ますよ！」

というと、

「子宮筋腫も何個か見つかってます。」

とのこと。

この流れから、

食べるのが早い



胃に食べ物を詰め込むことで胃が大きくなる



胃が大きくなることで腸の居場所が少なくなり、腸が働きにくくなる



腸に消化しきれない食べ物が蓄積される



腸に蓄積された重さで腸下垂になる



腸が下がってきたことで子宮がつぶされ子宮の冷えが起こり子宮筋腫へ



さらに、腸にたまった食材は、長期化すればするほど、腐敗する可能性が高まってくる



食べ物が腐敗すると熱を発生する



熱は上に上がる習性がある



腸から上に熱が上がるということは、胃に上っていくとい
うこと



胃に熱が加わると、胃酸と合わさることで、過熱していく



胃自体が熱くなり、胃が上がることになり、食道裂孔ヘル
ニアへ

この流れが完成する。

腸に宿便がたまっているときというのは、腸が機能してい
ないということ。

腸が機能していないということは、副交感神経が働いてい

ないということ。

副交感神経が働かない時は、交感神経が働きやすい。

交感神経が働きすぎているときは、胃酸が出過ぎて、過食傾向に。

胃酸が、出ているときに食べることができなければ、胃を荒らすだけ。

胃が荒れた状態を胃炎といいます、この方2年前に、

胃炎を起こしていました。

胃に熱がたまると、

1. 胃炎
2. 胃潰瘍
3. 逆流性食道炎
4. 食道裂孔ヘルニア

などが、起きやすくなります。

この方は、胃炎と食道裂孔ヘルニアを起こしていました。

原因は、早食いです。

ですので、早食いを注意することで、この悪いパターンから抜けることができるようになるわけです。

胃が大きくなったり、腸が重く下に下がってしまったら、胃や腸がぶら下がっている背骨に負担をかけます。

背骨のどの位置でも、前側についているものが、下に引き下がるような、圧力が加われば、当然、背骨周辺の筋肉に負担がかかります。

負担が長く続けば痛みに代わるだけ。

その痛みが、背骨上であれば、首から腰まで、どの位置に痛みが出てもおかしくありません。

たまたま、この方の場合、首と腰に痛みが出ただけ。

従って、治療は、胃腸を改善させ、胃腸の重さを取り除き、背骨の負担をなくすことが重要となります。

胃腸のツボで大事な場所は、足のすね。

そして、お腹。

ですので、足とお腹だけにお灸を行い、さらに、腸の重さの負担が強かった腰に、銀粒を貼り、首の痛みも腰痛もなくなったという流れになります。

最後に、食道裂孔ヘルニアになった原因には、胃が上に上がるとともに、横隔膜の筋力低下がなければおきません。

胃が大きく、重くなった時に、横隔膜は下に引き下げられます。

その後、上へ引き上げるような呼吸ができていれば、問題なく元の位置に戻るのですが、スポーツをしていない大半の人が、横隔膜を使えていません。

使っていない筋肉は、必ず劣化します。

そのため、力が弱くなり、胃が飛び出してしまったということ
ことです。

ですので、食事の時の注意と共に、横隔膜を鍛える意味で、
深呼吸をしっかり行っていくことも必要になります。

❖ 8 : 首と肩の痛みと湿疹はストレスが原因

今回は、3つの症例の2番目。

首と肩の痛みと湿疹についてです。

首と肩の痛みが強く、マッサージでいくら強く押しても押された感じがしないという。

さらに、1年前から手足に湿疹が出始め、薬を飲んでもあまり変化がなく、最近顔にまで出てきてしまったという30代女性。

こちらの方も、前回同様、首や肩の問題よりも内臓の問題があるはずなので、仰向けで診ていく。

首と足からは、肝臓の問題。

そして、お腹と足からは、胃の問題。

脈からは、肝臓と胃の問題、そして強いストレスの問題がありそう。

この方も、お腹と足に集中的にお灸を行いながら、その都度首が柔らかくなっているかを確認する。

首の固さが、非常に強く、首の筋肉の問題よりも、肝臓の状態、もしくは、強いマッサージで傷めてしまったものと捉え、首の筋肉の変化に注意しながらお灸を行った。

足の状態は、簡単に变化するが、横隔膜と首の緊張が、なかなか変化しない。

これは、かなり強いストレスがある証拠。

実は、家族に長期入院していた人がいて、毎日看病に病院へ通っていた時期があったという。

その時期から湿疹が出始めていたことに、患者さんが話しながら気づいたよう。

しかも、二人の子供を育てていることもあり、かなり緊張状態を続けていたことが伺える。

緊張とイライラが続くと、胃と肝臓に反応が出てしまうものの。

胃の問題であれば、首の前側に、肝臓の問題が強ければ、首の側面に筋肉の緊張が現れる。

この方は、首の側面の緊張が強く、肝臓の問題の方が強いということがわかる。

肝臓の問題が、証明されているように横隔膜の固さも顕著に表れている。

肝臓の問題が出ているときは、血液の問題も出やすく、若干血液不足も出ている。

血液不足というのは、栄養不足と同義。

食事はとっているが、栄養が摂れていない。

要は、栄養を取り込む時間である睡眠がうまく取れていないということ。

夜中にお子さんが動きまくる。

旦那さんの帰りが遅く、帰ってきたら起きるので、毎日睡眠が不足している状態だった。

元々ストレスを受けやすいこともあり、毎日の看病と、子育てに追われ、リラックスする余裕がなくなっていたことが、今回の症状の原因。

今回は、胃と肝臓の疲れを取り除き、機能回復させることで、首の痛みが改善できたが、看病も終わり、睡眠もしっかりとれるようになることと、ストレスを受けた時に、すぐにリラックスできるようにしていくことが今後の課題。

ちなみに、湿疹というものは、肺か腸に不純物がたまっているときの反応。

この患者さんの場合は、緊張状態により胃が興奮していることと、睡眠不足により、腸の働く機会がなくなっていた。そのため、栄養を取り込むことができず、いくら食べても太れないという問題につながっていた。

まずは、就寝前に深呼吸を十分に行い、リラックスした睡眠がとれるように工夫していくこと。

これを習慣化することで、胃腸のバランスを保てるようにすること。

あとは、新たなストレスを受けてしまった時にどうするかだが、とにかく、何をすればリラックスできるようになるのか？

深呼吸の成果がどのように出てくるか、経過を診ていくしかない。

❖ 9 : 胃の痛みと胸と背中の中の痛みの原因は 運動不足？

さて、今回は3つの症例の最後になります。

胃の痛みと背中と胸の痛みが出始めた30代男性。

胃の痛みに関しては、キリキリ痛むとか、胃もたれみたいな
のではなく、胃の周りが張って痛むような感じがするとい
う。

しかも、仕事中だけ！！

胃が張るときというのは、胃酸過多になっている状態を表
します。

であれば、食べ過ぎ傾向になるはず。

しかも、仕事中だけ胃酸過多になるということは、それだけ交感神経が働いているということ。

要は、緊張性のストレスを、仕事中に感じているということ。

胃酸過多と食べ過ぎの状態を診断するために、足の胃腸診断点をチェックすると、しっかりとその傾向が出ている。

さらに、胃の張りと共に、肝臓・膵臓の疲れも出ている。

そして、胸の痛みを感じていることから、胸もチェックすると、かなり呼吸筋の低下がみられる。

ということは、相当運動量が減ってきている表れ。

症状が出始めたのは、ほんの3週間前。

その前に、この患者さんの生活で何が変わったのか？

聞いてみると、1年前からデスクワークになったという。

それまでの10年間は、営業で歩き回っていたとのこと。

これが、運動量低下の原因だった。

運動量が落ち、筋肉を動かす機会も心肺機能を上げる機会も減ったため、呼吸筋が落ちたということになる。

最大の呼吸筋である横隔膜だけでなく、肋間筋も落ちてし

まっているため、胸にまで痛みが出るようになっているのだ。

そこで、胸とお腹、そして足にお灸を行い。

呼吸をしやすくしながら、胃腸のバランスと肝臓と膵臓の疲れを取り除くようにお灸を行う。

さらに、背中痛みも強かったため、背中にもお灸を行い、症状が完全になくなって驚いていた。

この患者さんの場合、デスクワークに変わった後に、運動量が落ちても、身体に対して何も行っていなかった。

そればかりか、食生活は動いていた時と全く変わらず。

これでは、食べ過ぎになってしまい、胃酸が出過ぎるのも仕方がない。

しかも、今までと違って、目を重視した日常となり、筋肉に血液が分散されていたものが、頭部へと集中するようになってしまった。

筋肉に分散されているときは、少々疲れが出てきても、血液はくまなく流れているので、速やかに回復できる。

しかし、頭部に血液が集中してしまうと、少々筋肉が疲労を起こしても、なかなか救援に駆けつけることができなくなる。

そのため、疲れを感じるころの回復が間に合わず、痛みが出るようになってしまう。

このような状況を作らないようにするためには、普段から動く癖をつけることと、じっとしているときほど呼吸を深くするよう意識する必要がある。

このような内容を、治療しながら話していると、非常に合点が言ったような、受け答え。

うまく、デスクワーク用の身体と生活を作り上げていければ、このような苦しみを感じなくて済むようになります。

❖ 10 : 肩や腰の張りを足首捻挫の対策を することで改善

今回は、患者さんからの経過報告です。

内容は、

—— ここから ——

昨日は寝るまで

何となく胃が痛いような張っているような感じがして、

久々に胃が自己主張している感じがしました。

今日はすっきりしていて 痛みもありません。

なるべく押さないようにします。

初めて胃と肝臓が強くないということを知って驚きましたが、これからは、もっと気をつけていこうと思います。

ありがとうございました。

ところで、今日友達とお茶していた時(コーヒーではなく、氷抜きでオレンジジュースにしました (笑))、加圧トレーニングの話題になりました。

その友達曰く、若返りと代謝アップにいい!!とのことで力説していましたが、効果のあるものでしょうか。

他に筋力アップに何かいい方法がありますか？

昨日、筋力アップという話題が出たことも手伝って、加圧に興味を持ってしまったのですが、最近何がいいのかよくわからず悩みます。

もしお時間があれば、ご教示頂けると嬉しいです!! (もちろん、次回の予約の時でもけっこうです。)

よろしくお願ひ致します。

—— ここまで ——

この方は、肩と腰の張りがあって、歪みも気になるということ由来院。

その時に、原因として昔、足首を捻挫したところが、治っていないということがありました。

そこで、青竹踏みを自宅でやってもらうようにしました。

そして、上記の内容は、その 1 ヶ月後、再来院の翌日にいただいたメールです。

実は、この 2 回目の来院時には、症状が一転。

前回の症状は全てなくなり、足首の捻挫の影響もかなり軽減していました。

このつらさがなくなった影響か、2 年前から、みぞおちの部分が冷えていて、押すと痛いという症状を思い出したという。

そのため、こちらをメインとして治療をすることになりました。

触診から、胃と肝臓の問題。

そして、問診から、

1. のど風邪が多い
2. 酒が飲めない
3. 視力が非常に悪い
4. コーヒーを過剰に飲んでいた時期がある

などの問題があることから、触診通り、胃と肝臓の治療が必要ということになりました。

そこで、今回は、前回と打って変わって、胃と肝臓に焦点を絞って治療を行うことになりました。

もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、
全102ページ、販売価格1,980円

あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを**無料でプレゼント**させていただいています。
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

株式会社キュアハウス
キュアハウス鍼灸治療院
院長 中村幸生